

(様式)

令和7年度和太鼓部の指導方針等について

令和7年5月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	大島 浩	北原 永	和太鼓協会顧問	20日
副顧問	大坂 朋美	岩木 葵		14日
副顧問	鵜飼 彩夏			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。また、太鼓を通して、豊かな人間性、協調性、感謝する気持ちを身につける。
- (2) 具体的到達目標
高文連総合文化祭（全国大会）の出場、関東和太鼓選手権上位入賞を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、年間1回の定期演奏会を実施し、小学校や地域自治体等からの公演要望にできる限り応える。

3 指導方針

- (1) 部活動の自主性
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、朝練習は自主的な練習とする。
- (2) 公演
目的意識と創作意欲を持たせる。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者

と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	青梅市内の催しで公演
	5	青梅市新緑祭
	6	和太鼓部定期公演
	7	地域自治会等が行う祭り等での公演 福祉施設での公演
	8	地域自治会等が行う祭り等での公演
2 学期	9	本校文化祭「青総祭」での公演
	10	東京ガンダムプロジェクト公演
	11	青梅市のみの市における公演 東京ガンダムプロジェクト公演
	12	東京都高文連「郷土芸能の部」参加
3 学期	1	高校生太鼓祭りへの参加
	2	青梅マラソン応援演奏

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。